

## 動物愛護推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	委託、直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 1 学びを伸ばす(人材力) ] 政 策 [ 3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現 ]				関連する県の計画等		[ 第2次福井県動物愛護管理推進計画 ]							
[解決すべき問題・課題] ・ 県民への動物愛護思想の浸透や適正飼養の啓発 ・ 動物愛護施策への県民意見の反映						[問題・課題を表す客観的データ] ・ 動物に関する苦情数(令和2年度)624人 ・ 独居高齢者による多頭飼育問題 ・ 自然災害やコロナ禍におけるペットへの対応								
[事業目的] 動物を「命あるもの」として大切に作る動物愛護思想の浸透や、生涯にわたって適正に飼養することを啓発し、「人と動物が健康で明るく共生する幸福で暮らしやすい福井」を目指す。														
[事業内容] ① 幼稚園や小学校等に出向いて愛護教室を実施し、命の大切さを伝える ② 収容犬猫とのふれあいや飼養体験から「命を守る責任」について啓発 ③ センター屋外施設(ドッグラン・多目的広場)の有効活用 ④ 動物愛護施策の検討にかかる実態調査														
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 4,500人(センター利用者4,000人、出張動物愛護教室500人)								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 動物愛護管理委託料 動物愛護センター運営費 (役割分担) ・ 犬猫の保護、引取、飼養管理、返還、譲渡、苦情対応、飼い主講習会、適正使用指導など							
市町との連携状況	・ 市町および福井県獣医師会との間で、県の動物愛護施策等に関する動物愛護担当者研修会を実施 ・ 市町の施設を利用して、動物愛護パネル展、犬猫譲渡会、動物愛護教室等を実施(※新型コロナの感染状況に応じて実施)					他県の状況	北海道・岩手県が動物愛護センター未設置							

## 動物愛護推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託、直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,572			(諸収入) 397	2,175	福井市からの受託収入								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			28,300	939	2,572	令和2年度に整備した屋外施設を有効活用するための予算の増額 動物愛護施策の検討にかかる実態調査をするための予算の増額								
2月現計予算額の推移			27,902	939										
決算額の推移			26,553											
前年度までの 主な増減理由	令和2年度：猫飼育室の増設工事、屋外広場の養生、施設案内看板等を設置													
[成果指標等の推移]														
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	犬猫とのふれあい体験および動物飼養体験	(目標) 実績		(300) 281	(300)	(300)	(300)	(300)	犬猫とのふれあい体験および動物飼養体験 (300人/年間)					
活動指標	開催回数	(目標) 実績	(6) 6	(12) 19	(12)	(12)	(12)	(12)	年12回以上実施					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
【R3年度の実績・予定】 ・534人(24回開催)(R4.2月末現在) ⇒コロナの影響で人数を制限しながら実施(予約制) 成果指標を達成するために、開催回数を増数している			・事業目的を達成するために令和2年度に整備した屋外施設(ドッグラン)を有効活用 ・県民に対し、動物愛護施策の検討をするための実態調査を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 浄化槽設置整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 S63 年度 経過年数 35 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助										
補助率	1/3										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等		[ ]				
[解決すべき問題・課題] し尿と生活排水を併せて処理する合併浄化槽を整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、県民の快適な生活環境の保全および公衆衛生を向上させる必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 汚水処理人口普及率：96.7%(令和2年度末) 2025年度末見込 99.3% (河川課：福井県内の汚水処理施設整備の現状と見通し2019)					
[事業目的] し尿と生活排水を併せて処理する浄化槽を計画的に整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、県民の快適な生活環境の保全および公衆衛生の向上に寄与する											
[事業内容] ○市町が行う合併浄化槽設置整備事業（浄化槽設置者に対する設置費用の助成）に補助する。 事業主体 市町（一部事務組合を含む。） 補助率 補助基準額と市町が補助した額を比較していずれか少ない額の1/3 対象浄化槽 浄化槽および20人以下かつ高度処理型の変則浄化槽（ただし、国の交付金を受けたものに限る。） 補助基数 151基 補助金の交付 浄化槽の設置に要する経費のうち社会的便益に相当する分（4割）に対して補助する。 また、単独浄化槽、くみ取り便槽から合併浄化槽への転換に係る単独浄化槽、くみ取り便槽の撤去および宅内配管工事費に対して補助する。											
[受益者] 浄化槽整備区域内の未普及地域に住む県民						[想定される受益者数] 1,463人					
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町も県と合わせて1/3補助する。					他県の状況	41自治体で実施				

## 浄化槽設置整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	S63 年度 経過年数 35 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源			国庫、その他財源の名称等				
予算額	20,688						20,688					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	43,800	47,200	32,378	24,631	20,688	鯖江市、越前市の要望額の減 合併浄化槽の設置基数が減少傾向にあるため						
2月現計予算額の推移	45,344	24,333	18,398	21,247								
決算額の推移	42,299	19,322	12,891									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30→消費税増税前の駆け込みによる設置基数の増加。</li> <li>・ R1 →消費税増税の反動による設置基数の減少。国の制度見直しにより個人設置新設への助成が限定されたこと※による減少。 (ただし、R1は経過措置あり。全適用はR2から)。 ※新築家屋の浄化槽設置及び合併浄化槽の更新については、既存の汚水処理未普及解消につながるものや災害復旧対応に資するものを対象とし、合併浄化槽の設置された家屋の建て替え・増築する場合の浄化槽の設置や既存合併浄化槽の更新・改築については対象外となった。</li> <li>・ R2 →R1の国の制度見直しの全適用およびコロナ感染拡大による設置基数の減少。</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	汚水処理人口普及率 (目標)	(96.2%)	(96.6%)	(97.1%)	(97.6%)	(98.1%)	(R7:99.3%)	(100.0%)	汚水処理人口普及率＝汚水処理人口/行政人口 (汚水処理人口は下水道や集落排水等も含むため、浄化槽のみの成果指標の目標設定は困難)			
活動指標	補助金合併浄化槽基数 (目標)	(299)	(324)	(229)	(172)	(151)			毎年、市町からの要望を受けて補助設置基数を積算			
	実績	96.1%	96.4%	96.7%								
	実績	284	144	86								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
補助浄化槽基数 (R2当初) 229基、(R2実績) 86基 コロナ感染拡大による浄化槽設置基数の減。 (参考：住宅着工統計における県内新設住宅着工数 R2 3,961件、R1 4,827件)				市町要望額×過去3年平均の執行率で予算要求額を算出				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,943	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 生活基盤施設耐震化等補助事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代								
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	1/3、1/4																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政 策 [ 16 防災・治安先進県ふくいの実現 ]				関連する県の計画等		[ ]												
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]													
大規模な地震などの自然災害時に水道の被害を最小限におさえるため、水道の浄水施設や水道管等の耐震化を図る必要がある						県内水道の基幹管路の耐震化率：37.5%(令和元年度末) (全国平均：40.9%)													
[事業目的]																			
生活に密接に関係する水道施設の耐震化を推進するための施設整備等に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策等の取組を支援する																			
[事業内容]																			
○水道施設の耐震化を推進するための施設整備等に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策等の取組を支援する。 ①補助対象者 福井市、大野市、勝山市、鯖江市、永平寺町、池田町、南越前町 ②補助内容 水道施設の耐震化、老朽化対策に関する事業費の一部を助成 福井市(44,000千円)、大野市(21,000千円)、勝山市(32,000千円)、鯖江市(50,000千円)、永平寺町(3,554千円)、池田町(64,900千円)、南越前町(26,666千円) ③補助率 3分の1、4分の1(県1/3、1/4) 事業メニューにより補助率が異なる																			
[受益者] 福井市、大野市、勝山市、鯖江市、永平寺町、池田町、南越前町						[想定される受益者数] 382,424人(令和元年度末給水人口)													
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況	水道事業体(福井市、大野市、勝山市、鯖江市、永平寺町、池田町、南越前町)に対して、生活に密接に関係する水道施設の耐震化を推進するための施設整備等に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援する					他県の状況	全ての都道府県で実施												

## 生活基盤施設耐震化等補助事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了予定年度(見直し年度)
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数	
補助率	1/3、1/4								<input type="checkbox"/> その他		7 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	242,120	242,120					生活基盤施設耐震化等交付金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	155,125	157,608	203,246	179,900	242,120	水道事業体の要望額(当該年度の事業計画)に応じて増減する 勝山市、永平寺町、南越前町が新たに事業開始予定						
2月現計予算額の推移	156,125	147,216	203,246	179,900								
決算額の推移	156,125	147,216	203,246									
前年度までの主な増減理由	各水道事業者において、耐用年数を超えた施設の更新(耐震化)や、水質の変化にあわせて施設を整備していく必要があるため、当該年度の事業計画により要望額が増減する。											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	基幹管路の耐震適合率(上水道の県平均)(%) (目標) (37.5) (38.0) (38.5) (39.0) (39.5) (40.5) (100) 実績 37.1 37.5	水道施設の耐震化、老朽化対策の取組等を支援し、給水の安定を図る(水道事業体の水道施設の耐震化等に対する補助であるため)										
活動指標	補助事業数 (目標) (6) (7) (6) (6) (9) 実績 6 7 6 6	水道事業体の計画に対する補助であるため目標の設定が困難										
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
補助事業数:6(福井市2、大野市2、鯖江市、池田町) 成果指標は概ね目標を達成している 活動指標は計画どおり進捗している 更なる成果目標の達成のためには、国における補助事業の採択基準の緩和や補助率の引き上げが必要				水道事業体の事業内容に応じて変更する 勝山市、永平寺町、南越前町が新たに事業開始予定				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 薬剤師確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政 策 [ 14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉 ]				関連する県の計画等		[ 医療計画、医療費適正化計画 ]								
[解決すべき問題・課題]  県内の薬局に勤務する薬剤師の確保を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内薬剤師数(H30.12末現在)1,466人 人口10万人当たり189.4人(全国平均246.2人) [うち医療施設・薬局の従事者152.2人(全国46位)] 医療機関での求人に対する充足率(直近3か年)28.0%~42.6% (※R3アンケート調査結果)									
[事業目的] 県内の薬局に勤務する薬剤師の確保を図る。															
[事業内容]  (1) 薬学生の県内就職促進 ・大学訪問 (2) 薬学部進学者の確保 ・高校生セミナーの開催 ・薬剤師のお仕事見学会(会員薬局、病院、卸売販売見学 10回) ・中高生向けの薬剤師職紹介パンフレットの作成、配布 ・中学生向け職業体験実施 ・「くすりと健康フェア」の開催															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 76万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 U・Iターン奨学金返還支援事業 (役割分担)  薬剤師の県内就業促進									
市町との連携状況	—					他県の状況  石川県：実施なし 富山県：就職説明会(病院薬剤師会に補助 地域医療介護総合確保基金) 中高生対象にお仕事体験、中高生とその保護者向け説明会 和歌山県：復職支援事業(県薬剤師会補助 地域医療介護総合確保基金) 滋賀県：人材確保事業(新卒者向け)、女性薬剤師の働きやすい環境整備 事業(復職支援)(地域医療介護総合確保基金)									

## 薬剤師確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,476			繰入金 1,476				地域医療介護総合確保基金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		2,146	1,700	1,344	1,336	1,476	薬剤師のお仕事見学会の回数を増加							
2月現計予算額の推移		2,146	1,700	1,344	1,336									
決算額の推移		2,146	1,699	1,344										
前年度までの 主な増減理由		H30：H29に研修機器の購入があったため購入費分が減額 R1：研修会の経費を削減 R2：薬と健康フェアの開催を別の国庫委託事業で実施したため減額												
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	薬局・医療機関従事薬剤師数 (目標) 実績			(1,189)	(1,208)	(1,228)	(1,269)	(1,589)	H30年度までの三師調査の結果から推計					
活動指標	訪問・セミナー参加大学 (目標) 実績		(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
・高校生セミナーの開催 (web配信にて実施 58名参加) ・薬剤師のお仕事体験見学会 (計4回 21名参加) ⇒いずれもコロナの影響により参加者が減少しているが、申込者は年々増加している。				薬剤師のお仕事見学会の回数を増加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				